

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2024年 1月 22日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう御立西

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	1	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生が多い日等は狭く感じる。 ・特に高学年の利用者様が多く、広いスペースを必要とする場合は、スペースの使い方や備品の移動等に工夫している。 ・狭く感じる曜日は、分散して活動できるよう助めている。
	②	職員の配置は適切である	4	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者が増えたため、今までと違い効率的に事務作業を行っている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策マニュアルに基づいて実施している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りノートの活用を行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフミーティングを実施し、共有や改善策を検討している。
	⑥	自己評価の結果を公開している	4	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフミーティングにて、ホームページで公開していることを伝えたため、全員の周知ができた。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度時間を決めてスタッフミーティングを行っている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングに向けて、スタッフミーティング内で話し合っている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・各自意見を出し合って計画をしている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット等で調べて、新しい事に挑戦できるよう計画を立てている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事や体験学習等を実施している。 ・休日や長期休暇の活動がマンネリ化しないよう工夫している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・臨機応変に対応している。 ・特性理解を深めて支援をしていく。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・外出予定の時等、出勤前にマンツーマンの対応が必要な利用者さんには担当者を決める等の打ち合わせをしている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士で確認しながら、提供記録を書いている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・半年ごとにモニタリングを行っている。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	3	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・夢門塾のコンセプトの運動を中心に3本柱を組み込んで、支援をしている。 ・スタッフミーティングにて、改めてガイドラインの確認をした為、全員の周知ができた。 	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	0	・保護者様のご協力により月の学校行事等のプリントをコピーさせてもらい、予定を把握するようにしている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	2	3	2	・相談支援事業所を通し、情報共有に努めている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	3	3	1	・相談支援事業所を通し、情報共有に努めている。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4	2	・相談支援事業所を通し、連絡を頂いて情報共有している。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	7	0	0	・コドモンや送迎時に情報共有をしている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5	2	0	・契約時に、書面等を活用して、説明を行っている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	5	2	0	・言葉を慎重に選びながら、助言をしている。(送迎時、コドモン、電話)
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	0	2	5	・保護者会を実施したいが、駐車場の兼ね合いで実施できていない。 ・実施できるよう計画を立てている。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	0	・職員全員に周知して、悩みを解決したり、再発防止を行っている。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	7	0	0	・毎月の夢だよりや夢通信、利用予定表で行事の情報提供を行っている。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	6	1	0	・個人情報の同意書等にて意向を確認している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	・目線を合わせて話すようにしている。 ・保護者様には、言葉遣いを気を付けている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	3	4	0	・出店することはないが、地域の祭りや文化祭に行くことがあった。
非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	6	1	0	・緊急対応、防犯、感染症、火災に合わせた対策マニュアルを策定し、周知している。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	6	1	0	・全曜日で避難訓練を実施し、非常時に備えた。
	㉒	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	0	・スタッフミーティング時等に情報交換を行っている。
	㉓	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5	2	0	・現地点で該当者がいないため、記載していないが、必要があれば十分に説明を行い、了承を得てから実行する。
	㉔	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	4	3	0	・現地点で該当者がいないが、必要があれば予約表の確認、チェックの上投薬を行う
	㉕	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	3	4	0	・法人共通の様式を使用している。

保護者様評価、自己評価についてまとめ

保護者様が直接、夢門塾での様子を見たいと言う意見が多数あるが開催できていないため、公共の場所を借りての保護者会や、少人数制での参観等を計画し実践していきたい。